

物流業界におけるドライバーの人手不足や2024年問題等による輸送機能の供給網が崩壊しつつある中、当社は新物流センターを主軸とした持続可能で効率的な食品供給網を関東圏内に展開し、課題解決を目指します。

補助事業の
背景・目的

■ 関東全域の食料品供給網を支える社会インフラ企業へ

- 物流拠点の新設と輸送網及び輸送手段の再構築を通じて、共同配送プラットフォームを構築し、従来の個別配送の限界を打破
- 関東圏の食品流通の効率化を図るとともに、地域雇用の創出と従業員への適正な賃上げを実現

事業費
(補助額)

80.8億円
(16.6億円)

設備投資
内容



■ 新物流センター完成図

■ 新物流センター設備概要 (次頁以降で詳細記載)

設備名称	施設特徴
冷蔵・冷凍保管倉庫	床面積：約9,000㎡
管理システム	輸配送・倉庫管理・入退室管理・温度管理システム
トラフィックセンター	床面積：約4,600㎡
トラックバース	貨物トラックの連結可能台数：24台
事務所棟	本社・輸送・システム事務所の機能を包括
インタンク	40Kℓの軽油を貯蔵可能
太陽光発電設備	約1,000枚のソーラーパネルを拠点の屋上に設置
駐車場	約200台
洗車機	1台

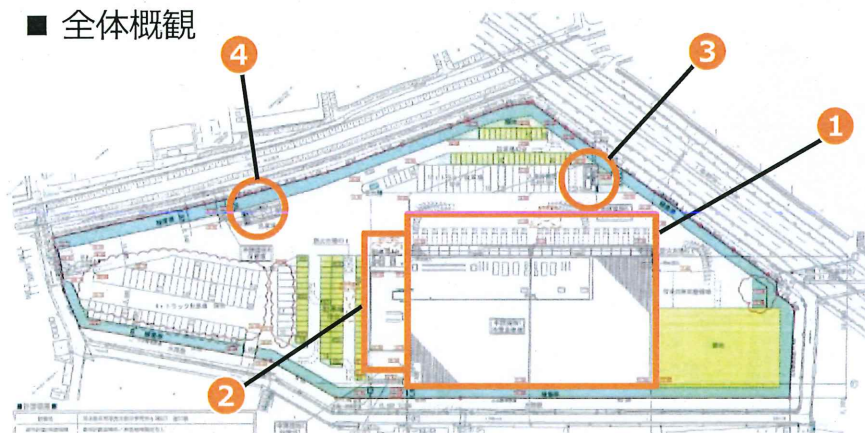
目標値

項目	2028年度 (基準年度)	2031年度 (基準年度+3年後)
労働生産性 (単位：百万円/人)	4.8百万円/人	12.6 百万円/人
従業員1人当たり給与支給総額 (単位：百万円/人)	4.3百万円/人	4.9 百万円/人 (年平均上昇率+5.01%)
役員1人あたり給与支給額 (単位：百万円/人)	9.4百万円/人	10.8 百万円/人 (年平均上昇率+4.90%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	140人	269 人

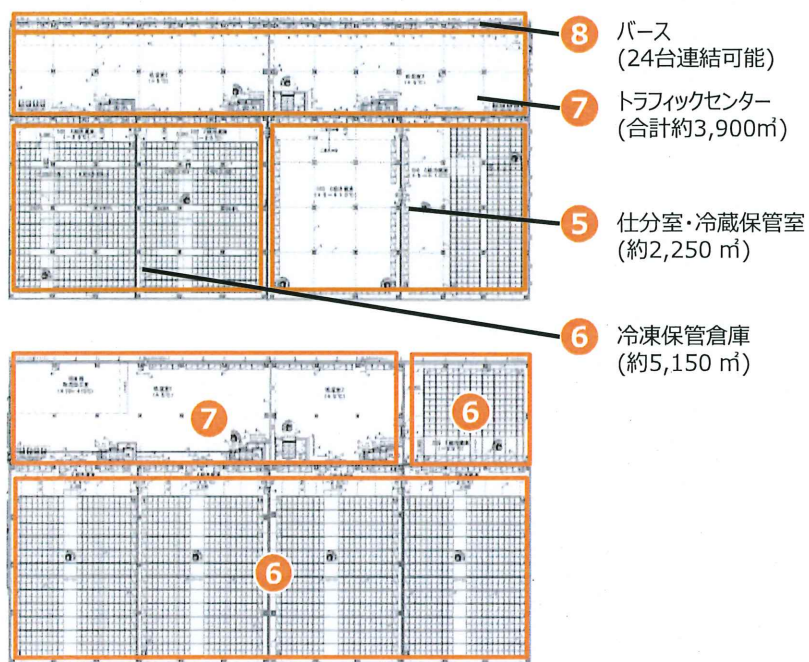
2.補助事業の概要 (2/2)

複数拠点を集約することで輸送ルートや管理業務の合理化による労働生産性の向上を目指します。また環境保全を目的に太陽光発電の設置を行うとともにインタンク、洗車場の新設を行いコスト削減を実現します。

■ 全体概観



■ 物流倉庫棟 (上図：1F、下図：2F)



No.	項目	機能・特徴	期待効果
1	物流倉庫棟	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流倉庫棟については次頁ご参照 ● ソーラーパネル約1,000枚分の太陽光発電設備を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 太陽光発電によって生み出した電力の自家消費を計画。物流倉庫等にて使用する電気料金の削減を企図
2	事務所棟	<ul style="list-style-type: none"> ● 本社、上尾営業所、上尾セクション、さいたま営業所に分散していた事務所を集約 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自社保有の行田を除く4拠点における地代家賃を削減。管理業務の合理化による省人化を企図
3	インタンク	<ul style="list-style-type: none"> ● 軽油貯蔵可能量40Kℓ 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ インタンクに軽油を充填・購入することによりボリュームディスカウントによる軽油単価の抑制、燃料費の削減を企図
4	洗車場	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗車の内製化 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ガソリンスタンドでの洗車を内製化することでコスト削減を企図 (施策効果としては計画に未反映)
5	仕分・冷蔵保管室	<ul style="list-style-type: none"> ● 冷蔵食品の保管管理 ● 収容可能PL数 (パレット) : 1,260PL ● 面積 : 約2,250㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 一気通貫した物流サービスの提供により、新規顧客からの受注または既存顧客からのアップセルを企図
6	冷凍・保管倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ● 冷凍食品の保管管理設備、自然冷媒を採用 ● 収容可能PL数 (パレット) : 9,300PL ● 面積 : 約5,150㎡ 	
7	トラフィックセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● 入庫後、出庫前商品の一時待機スペース。輸送事業の核となる共同配送、冷凍小口配送計画で必須の装備 ● 面積 : 約3,900㎡ 	
8	バース	<ul style="list-style-type: none"> ● 車輦とトラフィックセンターの連結部分。同時に最大で24台分のバースを確保予定 	